

科目名	基礎デザイン実習C						年度	2025	
英語科目名	Basic Design Practice C						学期	前期	
学科・学年	デザイン科 インテリアデザイン専攻 1年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	角田光代 / 飯田裕樹		教員の 実務経験	有	実務経験の 職種	インテリアデザイナー			
【科目の目的】 目的1：形態、素材、色彩、構造に触れ、平面構成力を身につける。インテリアデザイン・コーディネートをする上での、色彩バランス、美的構想力を養う。 目的2：自身の好きなイメージについて掘り下げると同時に、他者の発表を通じて新たな発見を促す。質の高いインプットを促し、分析する眼を養う。デザインの基礎的なアプローチ、手法に挑戦し、難しさ、奥深さに触れる。手を動かしながら考えることを学ぶ。									
【科目の概要】 概要1：スケッチとパース図の作図（描き方・着色）色彩計画（カラースキム）など、複数の課題を通して表現技法を身につけ、段階的に到達レベルを上げる。 概要2：視覚的なイメージ、素材、インテリアデザイン、建築デザインに触れ、自分の好きなデザインを探し、分析する。基礎的に抽象的なデザインに挑戦する。									
【到達目標】 到達目標 A：図面を読み取り、パース図に描き起こせられる 到達目標 B：質感や陰影を出すために、濃淡、光沢などで立体感ある着色ができる 到達目標 C：視覚的なイメージ、素材、デザインを分析・調査ができる 到達目標 D：平面構成・立体造形の手法にて、イメージを形にできる 到達目標 E：調査や自身の取り組みを他者にわかりやすく伝えることができる									
【授業の注意点】 授業時間内で、作図の仕方や着色方法を学び、毎授業ごとに課題を仕上げる。道具の扱い・管理には注意を払うこと。欠席等により課題が出せなかった場合は、翌週までに仕上げ、提出すること。 全ての課題を提出しなければ、合格とならない。また授業時数の4分3以上出席しない者は合格することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	空間の特徴を細部まで捉えて描けている		空間の特徴をおおむね捉えて描けている			空間の特徴が書けていない			
到達目標 B	質感・陰影を理解し、細部まで立体感ある着色ができています		質感・陰影を理解し、おおむね立体感ある着色ができています			質感・陰影の理解が不十分で、立体感ある着色ができていない			
到達目標 C	視覚的な情報を詳細に分析・調査できている		視覚的な情報をおおむね分析・調査できている			視覚的な情報を分析・調査できていない			
到達目標 D	平面構成・立体造形の手法でイメージを細部まで形にできる		平面構成・立体造形の手法でイメージをおおむね形にできる			平面構成・立体造形の手法でイメージを形にできていない			
到達目標 E	調査事項、制作物について、他者にわかりやすく説明ができる		調査事項、制作物について、他者におおむね説明ができる			調査事項、制作物について、他者に説明ができていない			
【教科書】 やさしく学ぶインテリア製図									
【参考資料】 雑誌CONFORT2021年7月増刊素材・建材ハンドブック、CONFORT No175(素材に帰ろう), 187 (白と素)									
【成績の評価方法・評価基準】 課題成果物 60% 提出課題完成度を総合的に評価する 習熟度 20% 段階的に必要な技量の習得、適切な道具の選定 平常点 20% 積極的な授業参加度、授業態度による評価 ※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		基礎デザイン実習C			年度	2025
英語表記		Basic Design Practice C			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	表現技法の基礎	表現技法を学ぶには	ガイダンス	授業の流れを理解している	2	
			インテリア家具を描く	インテリア家具の形を捉えられる		
2	分析・調査	デザインを分析・調査する	業界説明	インテリア業界を理解している	2	
			デザイン探し	「好きなデザイン」を分析・調査することができる		
3	表現技法の基礎	着彩のポイントを抑える	素材感・陰影の理解	家具の素材感や陰影を理解して表現できる	2	
			濃淡、光沢を表現	家具へ濃淡、光沢を出した着彩ができる		
4	分析・調査	他者に伝えられ、他者から学ぶこと	発表	「好きなデザイン」を他者に伝える発表ができる	2	
			デザイン探し	好きな空間アライメント・アライナーを調査できる		
5	表現技法の基礎	着彩のポイントを抑える	素材感・陰影の理解	樹木の質感や陰影を理解して表現できる	2	
			濃淡、光沢を表現	樹木の濃淡・光沢を出した着彩ができる		
6	分析・調査	デザインを分析・調査する	発表	「好きな空間アライメント・アライナー」を発表できる	2	
			デザイン探し	「好きな素材」を分析・調査することができる		
7	表現技法の基礎	1消点パースの描き方	1消点パースの理解	図面を読みとり、立体視できる	2	
			1消点パースを描く	視点と遠近法を理解して作図できる		
8	分析・調査	他者に伝えられ、他者から学ぶこと	発表	「好きな素材」を発表することができる	2	
			デザイン探し	「残念な空間」を分析・調査することができる		
9	表現技法の基礎	1消点パースの描き方	家具を描く	相空作図から家具らしい形に描くことができる	2	
			空間・家具に着彩	素材感・陰影を表現した着彩ができる		
10	分析・調査	他者に伝えられ、他者から学ぶこと	発表	「残念な空間」を発表することができる	2	
			デザイン探し	「並べる」を分析・調査することができる		
11	表現技法の応用	2消点パースの描き方	2消点パースの理解	図面を読みとり、立体視できる	2	
			2消点パースを描く	視点と遠近法を理解して作図できる		
12	表現技法の応用	2消点パースの描き方	家具を描く	相空作図から家具らしい形に描くことができる	2	
			空間・家具に着彩	素材感・陰影を表現した着彩ができる		
13	表現技法のまとめ	"オリジナルで1消点パースを描く"	空間を描く	店舗のフロアードを1消点で描くことができる	2	
			着彩をする	素材感・陰影を表現した着彩ができる		
14	分析・調査から制作	他者に伝えられ、他者から学ぶこと	立体造形。平面構成	「並べる」を自身で制作できる	2	
			発表	「並べる」を他者に伝えることができる		
15	分析・調査から制作	他者に伝えられ、他者から学ぶこと	探す	「壁・柱・天井」欠けていても空間をなす。を探す	2	
			発表	「壁・柱・天井」欠けていても空間をなす。を発表する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等